

1 年次前期・選択
2 単位・30 時間

【概要・目標】

(概要)

運動器の痛みは日常生活動作や生活の質に影響し、高齢者においては健康寿命にも深く関わっている。運動器の疫学を通じて患者ならびに地域の人々の健康の保持増進・予防管理に関する知識を育む。

(目標)

- 1) 加齢変性と疾患の違いを理解する。
- 2) 運動器疼痛への対処法と予防法（一次予防、二次予防、三次予防）を理解する。

【授業内容・スケジュール】

	授業形式	担当
1) ~ 2) 総論 1 運動器の解剖・生理	(講義)	橋爪
3) 総論 2 運動器の痛み	(講義)	橋爪
4) ~ 8) 総論 3 臨床疫学研究の方法論 (統計含む)	(講義)	橋爪
9) ~ 15) 各論	(講義)	寺口

【評価】

発表 (40%)・レポート (40%)・受講態度 (20%)

【教科書】

講義スライドのハンドアウトなど

【推薦参考図書】

- 1) 福原俊一著：臨床研究の道標 (みちしるべ) 第 2 版 7 つのステップで学ぶ研究デザイン 上・下巻、健康医療評価研究機構、2017
 - 2) 福原俊一著：リサーチ・クエスチョンの作り方 第 3 版 (臨床家のための臨床研究デザイン塾テキスト)、健康医療評価研究機構、2015
 - 3) 竹上未紗・福原俊一著：誰も教えてくれなかった QOL 活用法 第 2 版-測定結果を研究・診療・政策につなげる SF-36 活用編、健康医療評価研究機構、2012
 - 4) 日本整形外科学会・日本腰痛学会監修：腰痛診療ガイドライン 2019、南江堂、2019
 - 5) 日本整形外科学会・日本脊椎脊髄病学会診断評価等基準委員会編：JOABPEQ、JOACMEQ マニュアル、2012
-

【その他】

連絡先：hashizum@wakayama-med. ac. jp